

ブラジル分散型太陽光発電システム導入事業（BL融資）



ブラジル最大規模の信用組合連合グループと連携し、太陽光自家発電システムの導入を促進

事業概要

ブラジル最大規模の信用組合グループであるSicrediが、同国全土で展開する太陽光自家発電システムに対する融資事業への支援を通じ、同システムの普及拡大を図り、もって同国のエネルギー供給の安定化及び気候変動の影響緩和に寄与するもの。

インパクト

1. ブラジルの電力供給の安定化・多様化に貢献

電力構成の約6割を水力に依存するブラジルでは、気候変動の影響による旱魃発生時の停電や価格高騰が課題。太陽光自家発電システム普及によって、電源構成の多様化を進めながら電力供給の安定化を図る。

2. 100年超の歴史と地方での強固なネットワークを活用

Sicrediは1902年に設立された中南米最古の信用組合を起源とする。その歴史・経験から地域に根差したネットワーク（組合員数400百万人超（約9割が中小農家）、支店数1,700、進出先自治体1,300）を活かして、農村部の住民や中小農家へのアウトリーチを実現。

3. 国際社会と連携した官民一体支援

Citibankとの協調融資案件。IDB Invest・Canada Climate Fundも先行融資しており、IFC・Rabobank（蘭）も出資参画する等、各ドナー等と連携した官民一体支援を実現。

